

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
認めあい 高めあい 助けあい ゆたかに花咲け保中生	<すすんで挑戦し、向上していく力>

### (2) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒理解に基づき、一人ひとりに寄り添った生活指導や支援の充実に努めます。</li> <li>○誰もが意欲を持って取り組み、基礎・基本の定着を図るため、楽しく分かりやすい学習指導の充実に努めます。</li> <li>○自他を尊重できる環境を整え、「誰もが」「安心して」「豊かに」生活できる学校づくりを目指します。</li> <li>○より良い学校生活を送るために、生徒一人ひとりが自ら考え、主体的に特別活動に取り組む学校を目指します。</li> <li>○学校行事や様々な活動に一生懸命に取り組むことを互いに認めあい、自信をもって何事にも挑戦していく姿勢を奨励します。</li> <li>○快適な生活空間整備のため、ゆたかに花咲く環境作りを目指します。</li> <li>○地域ボランティアをはじめとする地域との関わりや集団活動の中で自己有用感を育みます。</li> </ul> <p>〔具体的取組〕 ①元気の良い挨拶の励行 ②互いの違いを認め合う ③人の役に立つことをする</p>

### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

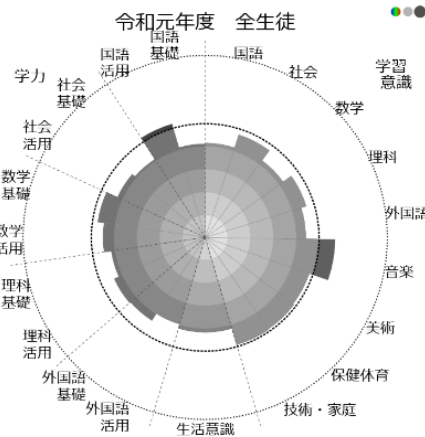
重点取組分野	具体的取組
確かな学力 授業改善	①基本的な学習習慣の定着に向けて子に応じた助言や指導を増やす。②定期テストへ向けた学習計画表の活用について工夫・改善を行う。③「GIGA スクール構想」実施にともない、生徒の学習に効果的な ICT の活用を教員自らも進んで行き、「学びの拡充と発展」へとつなげていく。
担当	学習・図書係

## 2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

### (1) 学力の概要と要因の分析

全体的に市の平均に届いていない実情があるが、基礎的な学力と活用問題の正答率とを比べてみると、教科において差異がみられる。数学、外国語（英語）に関しては、「活用」よりも「基礎」のポイントが高くなっているが、その他の3教科においては、逆の現象が起きている。特に国語に関しては、「活用」のポイントは市の平均を超えているが、「基礎」のポイントは下回っているため、引き続き基礎的な学力の定着を図るための授業改善が必要であると考えます。

学習意欲は、特に音楽のポイントが高く、技術・家庭や保健体育も平均値に近い。



### (2) 生活意識調査の経年変化による分析

前年度の調査結果では、「将来の夢や目標をもっていますか」という項目のポイントがかなり低い状態であったが、今年度の項目では、市の平均にかなり近い数値となっていた。学校全体で取り組む課題として「自己有用感を高めること」を設定していたことが成果として現れたのではないかと考えられる。

「自分のことが好きだと思いますか」という項目も、わずかながらポイントが上がっており、引き続き自己有用感を高めるための取組を続けていきたい。

